

科目名 (Eng)	情報処理演習 (Information Processing Practice)								
担当教員	湯川 崇								
対象学年等	学科・専攻	学年	授業期間	区分	単位数	時間数	分野	形態	学修単位科目
	コミュニケーション 情報学科	3	後期	必修	1	30	専門	C	
目標基準との対応	福島高専の教育目標との対応：(B-2), (B-3), (B-4数). 卒業時に身に付けるべき学力や資質・能力との対応：5), 6).								
授業の概要と方針	情報処理に必要な数学手法の基礎を学ぶ。								
到達目標	①統計データの収集・整理方法を学習する。 ②統計データの処理方法を学習する。 ③経済・経営学に関連した情報分析を実践的に学習する。								
授業計画									
	週	授業項目	理解すべき内容				事前学習		
後期	16	パソコン利用の基礎(1)	インターネットの利用 情報検索				課題を出すので、 その都度実施すること。		
	17	パソコン利用の基礎(2)	簡単な文書の作成 数式を含む文書の作成						
	18	パソコン利用の基礎(3)	Excelの枠組み 百貨店販売網データ						
	19	企業の財務比率の比較	比率 財務比率						
	20	家計消費の特徴	構成比と増減率 寄与度と寄与率						
	21	経済成長の要因の分解	相乗平均 経済成長の要因分析						
	22	国民所得の分布	度数分布表 ヒストグラム						
	23	賃金・貯蓄データ	代表値と偏差 メジアンとモード						
	24	金利計算の仕組みの理解	金利計算の基本 借入資金の返済						
	25	価格変動の測定	物価指数 デフレーターと相関係数						
	26	外国為替レートの変化の影響	外国為替 内外金利差と外国為替レートの変化						
	27	地域の経済指標の比較	県別データのランキング 地域経済のパターン化						
	28	個票データの集計	個票データの分布とクロス集計表 ピボットグラフの作成						
	29	課題演習(1)							
30	課題演習(2)								
試験について	中間試験は授業時間中に50分間の試験を実施する。 期末試験は50分間の試験を実施する。								
評価方法	課題・小テストを50%、定期試験を50%とする。								
教科書	菊池進他「経済系のための情報活用」実教出版								
参考書									
関連科目									
履修上の注意	毎回、授業の理解度を確認するために小テストまたは課題を出す。								